

県内就職の 魅力伝える

あおもりなでしこ
八学大で講演会

女子学生の青森県内就職を応援する「あおもりなでしこ」がこのほど、八戸学院大で講演会を行った。エブソンアトミックス(八戸市)の水梨佳奈さんと青森銀行の塩谷祥子さんが講師を務め、同大地域経営学科60人に、今後のキャリア形成へ向けたポイントを解説した。

講演会では、最初に県労政・能力開発課の大橋聡子さんが、県内の労働環境について説明。労働時間や通勤時間などは全国平均に比べて短く、働きやすい環境にある一方、結婚や出産を機に退職する女性が多く、ワー



講演会では、あおもりなでしこが自身の働き方などを紹介した

クライフバランスが重要と指摘した。

「あおもりなでしこ」の2人は、それぞれの会社の働き方改革の取り組みや、仕事とプライベートとの両立の仕方を紹介した。水梨さんは「今の自分だけでなく、10年、20年後の自分も想像して職業選択をして」とアドバイス。塩谷さんは「青森は子育てがしやすいと感じる。以前よりもオンライン環境が整い、生活拠点として十分」と魅力を語った。

同学科3年の岡村智優さん(21)は「県内で働く女性の話を聞いて、自身の働き方を考える良い機会になった」と述べた。(佐々木美香)